

令和5年8月31日

9月号

# 緑小だより

横浜市立緑小学校



ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

Mail : y3midori@edu.city.yokohamajp

URL <http://www.edu.city.yokohamajp/school/es/midori>

## 「やること」と「やりたいこと」

校長 寺澤 みゆき

子どもたちの元気な声が、学校に戻ってきました。日に焼けた顔、休み前より伸びた背、満面の笑み。尋ねなくとも、今年の夏休みがいかに楽しく、充実したものだったのか、うかがい知ることができます。見て確認はできませんが、この38日間の夏休みでの身体の成長に伴い、心や情緒もすくすくと育まれたことでしょう。長期休業中のご家庭でのご指導、感謝申し上げます。

私たちは、大人も子どもも日々、「やること」を行って生活しています。例えば、朝は決まった時間までに起きなければならないし、起きたら顔を洗って歯を磨かなければならない。身支度をして、食事をして、トイレに行き身だしなみを整えて、登校や出勤をする。学習や仕事をして、帰宅後は手伝いや家事をする…ちよつとだけできた隙間の時間で読書をしたり、テレビを見たり、ゲームをしたりしていることでしょう。

普段の私たちは、1日のほとんどの時間を「やること」、つまり、生活を維持するために当然やることと、やらなくては行けないと決められていることに、ほとんどの時間を費やしています。好きなことをもっとやりたいな、自由な時間がほしいなど、思ってしまう。

夏休み前の最後の朝会で、私は『やること』と『やりたいこと』という話をしました。これから始まる夏休みは、「やること」に費やす時間が減って、「やりたいこと」ができる時間がたくさんできる期間であること。時間をかけないといけないような実験や観察、制作に取り組むチャンスであること。また、なかなか行くことができない場所に行ったり、何かに集中したりすることが可能であることを伝えました。

私の「やりたいこと」は、普段はなかなか行けない、作品展や美術館に行くことと、読んでみたいと思っていた小説を読むことでした。この夏、3つの展覧会に行くことができ、今年の直木賞受賞の小説を無事、読了することができました。分厚いハードカバーの長編小説でしたが、楽しみにしていた本でしたので、じっくり向き合い、読むことができたのだと思います。休みの前に考えていた「やりたいこと」は、概ねできたと感じています。

さて、子どもたちの「やりたいこと」は何で、どんなことを成し遂げたでしょうか。登校した子どもたちに、聞いてみるのが楽しみです。

授業が再開し、また「やること」がたくさんある日々に戻ります。子どもたちの「やりたいこと」ばかりではないかもしれませんが、しかし、「やること」のいくつかが「やりたいこと」に変わったならば、それはとてもうれしいことだと思います。「やりたいこと」には、誰もが粘り強く、試行錯誤し、最後まで取り組もうとします。(この資質・能力を、「主体的に学習に取り組む態度」と言います。)

これから始まる前期後半の学習活動では、「やること」が「やりたいこと」になるように単元・題材の工夫をし、子どもが夏休みの中で培った、「やりたいこと」に没頭する力を学習に生かすことができるような教育活動を提供していきたいと思えます。

猛暑中の授業再開になります。地域や保護者の皆様に様々な場面でのご理解、ご協力をお願いする場面があるかと思えます。子どもの健康・安全を守りながら教育活動を再開するためとお汲みいただき、緑小学校の教育活動について、今月もご支援のほど、どうぞよろしく願いいたします。